

第10回「富県宮城グランプリ」について

1 趣旨

富県宮城の実現に向けて、本県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体及び個人を称えることにより、富県共創への関心を高め、県民及び県内企業の主体的な取組を促進することを目的として、平成20年度に創設。（東日本大震災後、平成23年度から平成26年度まで休止したため、令和3年度は第10回となる。）

2 募集・選考

(1) 募集期間

令和3年9月1日（水）～令和3年10月31日（日）

(2) 選考方法

県内の市町村、企業・団体、地方振興事務所等による推薦（自薦を含む）のあった企業・団体（合計14件）から、県内の産学官の主要団体で構成する「富県宮城推進会議」幹事への意見聴取等を経て知事が決定。

(3) 表彰の区分

【富県宮城グランプリ】

知事が、本県産業の発展、地域経済の活性化に最も貢献したと認めるもの。

【ものづくり産業振興部門賞】

ものづくり産業分野において、品質や生産性の向上、新商品の開発、新たな市場への参入、事業の協業化などに取り組んでいる企業等であって、地域におけるものづくり産業の模範となるもの。

【「みやぎの食」振興部門賞】

食産業分野において、6次産業化や高付加価値化、販路開拓などに取り組んでいる企業等であって、地域産業振興への貢献が顕著なもの。

【地域産業革新部門賞】

産学連携による新技術の開発や、高度人材の育成・確保等、産業分野を問わず、革新的な手法により地域産業の模範となりえる成果をあげているもの。

【特別賞】

独自技術や特筆すべきノウハウ、商品、サービス、ビジネスモデルなどがあり、今後の取組や成長などに大きな期待を持てるもの。その他、特別賞の授与にふさわしい特色を持つもの。

3 受賞者（敬称略）

計5者（富県宮城グランプリ：1者、部門賞：3者、特別賞：1者）

(1) 富県宮城グランプリ

受賞者（所在地）	評価のポイント
東北電子産業株式会社 （仙台市）	産学連携で開発した「微弱発光検出法」は、物質の劣化等を初期段階で捉えることが可能で、自動車、食品、医療等の幅広い分野で活用されている。当検出方法は日本工業規格（JIS）K7351として公示されたほか、国際標準規格（ISO）化も進めており、国内外での更なる展開が期待される。

(2) 部門賞

ものづくり産業振興部門賞

受賞者(所在地)	評価のポイント
株式会社 ブラモール精工 (富谷市)	主力製品である、ガス抜きピン「ガストース」をはじめ、数多くの製品が「みやぎ優れMONO」に認定されており、自社だけでなく各企業の生産効率向上に役立っている。自社で開発した技術やノウハウは惜しみなく開示するなど技術の発信拠点として地域の産業振興に貢献している。

「みやぎの食」振興部門賞

受賞者(所在地)	評価のポイント
マルニ食品 株式会社 (登米市)	製麺、調理麺等の製造・販売及び直営飲食店を運営。県産小麦の消費拡大のほか、出汁や具材に使用される肉や野菜等の消費を後押しし、県の食産業の振興に貢献している。SNS等を活用した先進的なマーケティングを実践し、高い情報発信力で宮城の食の魅力を全国に発信している。

地域産業革新部門賞

受賞者(所在地)	評価のポイント
株式会社 スクリブル・ デザイン (利府町)	「物体検知機能を有する高解像度鳥瞰システム」など、積極的な企画提案・開発を行った製品が、国内産業車両メーカーに多数採用されている。自社は設計開発に特化して技術力を高めるとともに、生産は提携企業に委託し、県内企業の収益増に貢献している。高い収益性を誇るビジネスモデルは県内ものづくり企業の模範となっている。

(3) 特別賞

受賞者(所在地)	評価のポイント
株式会社 みらい造船 (気仙沼市)	震災後、気仙沼で開業していた造船会社5社と関連会社2社により設立。最新鋭の整備と高い造船技術を有し、船舶の造船・修理等を行い、沿岸地域の基幹産業である水産業・造船業の振興に重要な役割を果たしているとともに、復興のシンボルのひとつとなっている。

4 表彰式

(1) 日時：令和4年1月28日(金) 午後1時から午後1時45分まで

(2) 場所：県行政庁舎4階 特別会議室 知事から賞状、記念品を授与

5 表彰式後の対応

今回の表彰については、表彰者の名称とともに、その取組を県ホームページで紹介し、PRする予定。また、グランプリ受賞企業においては、ものづくり産業広報誌「オガレ! ACE」にて企業紹介を行う予定。